資料-1

小 沢 一 郎　事 件 年 表

平成21年

検察の動き

1/14　1億円の裏金を海外から持ちかえったと外為法違反で西松建設の元海外担当副社長らが逮捕される。

東京地検は総額10億円と言われた裏金の政治家ルートを調べるが成果なし。

大久保秘書の単独犯として逮捕。

3/3　小沢一郎の大久保隆規第一秘書、西松建設社長と幹部が西松建設からの偽装献金を理由に政治資金規正法違反で逮捕（**「西松建設事件」**）

検察は西松建設の2つの政治団体に目を付け、ダミー団体による西松建設の迂回献金と見立てて捜査。

3/12　小沢一郎の元秘書の石川知裕衆議院議員を参考人聴取。

3/24　政治資金規正法違反で大久保秘書と西松建設社長を起訴。

22年5月18日の上杉隆のニュースの真相で平野元参議院議員が、5月13日に数人の財界人から呼ばれ話をした際に、酒の席で「大久保逮捕は自分が指示してやらせた」と森大臣が言ったという話をその財界人の一人から聞いたと暴露。

政治的・社会的影響が大きい案件は検事総長、東京高検検事長、東京地検検事正らが一同に会す「検察首脳会議」を開催するのが慣例になっていたが捜査当局はこれを無視し秘書逮捕に突入したとされる。

6/14　村木 厚子社会・援護局障害保健福祉部企画課長を虚偽公文書作成、同行使容疑で逮捕。

大阪地検では郵便割引不正事件での「凛の会」の障害者団体の証明に、厚生労働省発行の虚偽の証明書が使用されたとして現職局長であった村木厚子を被疑者として逮捕・起訴。民主党の政治家石井一氏(創価学会のP献金追及・麻生首相へ漢字テスト)が口添えをしたとされたがその日は千葉でゴルフをしていたと自分の手帳を基に証言。東京の小沢、大阪の石井で民主党を潰すための国策捜査であったという見方がある。

11/4　小沢一郎秘書3人に対して陸山会が東京都世田谷の土地を16年に購入した際に政治収支報告書に虚偽記載したとして、市民団体（世論を正す会：実体は不明）が政治資金規正法違反容疑で告発。

告発

市民団体（世論を正す会）

【西松建設事件】
「新政治問題研究会」（平成7年11月設立）と「未来産業研究会」（平成11年6月設立）の2つの政治団体は実体がなく西松建設のダミー団体であり、迂回献金により平成16年の政治資金規正法に違反にしたというもの。両政治団体は、平成18年の解散までに、「会費」と資金集めパーティーで、あわせて約5億9千万円を集め、約4億7千万円を政界に渡した。小沢一郎が3100万円、自民党では、尾身幸次元財務相が2080万円、加藤紘一元幹事長が1400万円、藤井孝男元運輸相600万円、森喜朗元首相が500万円など。また『東京新聞』が西松から献金を受け取った自民党政治家（二階俊博）の件について記事にしたところ、検察側はそれが望ましくない内容であるという理由で『東京新聞』に対して、取材拒否および東京地方検察庁への3週間の出入り禁止措置を取った。このため、マスコミは自民党系議員の疑惑を追及しなくなったと言われている。

裁判の動き

12/18　西松建設事件大久保秘書の初公判

東京第五検察審査会の動き

4/1　東京第5検察審査会を新設

2回の「起訴相当」議決で強制起訴に改正。

5/21　検察審査会改正法施行

5/？　審査員選定くじソフト配布

9/25　小沢事案1回目審査員の21年第4群の選定

2回目の一部(22年7月のみ)も担当。

12/18　小沢事案1回目審査員の22年第1群の選定

麻生内閣

麻生内閣が官房副長官に漆間巌を起用した理由は漆間巌が警察OBであることから現役警官から情報が得られ、小沢一郎民主党代表の持病である狭心症の状態や、民主党大物議員(石井一)のマルチ商法スキャンダルを調査させるという目的であることも取りざたされていた。

3/5　漆間巌官房副長官が記者団との懇談の席でオフレコで「自民側は立件出来ない」と語りそれが報道される。

3/10　民主党西岡武夫参院議院運営委員長が「党執行部と相談した上で検事総長（樋渡 利秋）の証人喚問を考えたい」とコメント

3/13　森英介法相が「検察官を証人として国会に出頭させることは、検察官の独立性と公正性の保持の観点から悪影響を及ぼす」として反対を表明。

5/11　小沢一郎　民主党代表を辞任

5/16　鳩山由紀夫　民主党代表に就任

民主党が308議席を獲得し圧勝、自民党は181議席減の119議席で1955年の結党以来初めて衆議院第一党から転落。

8/30　第45回衆議院選挙

9/16　鳩山内閣誕生、小沢幹事長

鳩山内閣